

夕刊 警城時報

行發日三十
印刷所 警城時報社
印刷人 岡田 弘成
電話 二二二二
郵政 第三三三三番
代印所 警城時報社
電話 二二二二
郵政 第三三三三番
代印所 警城時報社
電話 二二二二
郵政 第三三三三番

舞踊藝術の極致に 観客盡く魅了さる

けふ石井小浪舞踊公演會

地方の舞踊愛好者がひとしく公堂も文字通り立錫の余地なきに、石井小浪舞踊公演會も、盛況で公堂開設以來の演會は、愈々けふ市公會堂で開場記録を作つてしまつた。午後零時二十三分開演、来平に手取つて定刻より遅れ一時、踊頭は群がるファンに、取り過ぎ萬雷の拍手のうちに開幕、かたて自動車で会場に乗り込ん、プログラム第一番目の「イワノウ」は、会場は早くも市内第二ツチ曲「グエニエ」の「河の邊」から児童五百三十名、警女生八百名から「花園の麗姿」に至る二十数、第二校児童三百名、藤田女學校生番の曲目を演じて午後四時すぎ、徒二百五十名を始め平陽女學校の部を終了したが、地方では家政學院、石城産婆學校、更に今まで接することの出来なかつ、遠くは内郷第三、御鹿の兩小學の優美華麗な舞臺装置と模範的、平陽第二青年學校女生徒の照明のうちに舞臺一面に展開さ、二千数百名の學生團體と一般れた純舞踊の極致に満場の観客、観客三百余名で流石東北一を誇るに魅了さつた。

プログラム追加

「愛馬行進軍歌」外三種目 踊り手も更に二名増加

夜の部は午後七時から開演され好評を博したのみであるが、公演會のプログラムは、更に出演の踊り手も既報の人達より二十一番と豫定されてゐたが、特別に和代、加宮未麻子の二嬢に子供さんへの贈り物と景軍に華なものを加へたので、この公演は一層華やかなものとなつたわけである。

市會招集

平市會は十六日午後一時招集、公益質屋設置に伴ふ十四年度追進、加正正豫算、慰勞金給與、收入、皇軍將士慰問舞踊會の公演し、役代理者推薦その他を付議。

村井少將査閲

二師團司令部村井少將は十二日午後來平し十三日警中、平商の査閲を行つた。

四倉水道検査

四倉町水道部の精査検査は、縣土木課遠藤、神谷兩技師ならびに林、バルブ材伐採現場を視察した。

油の配給不足で 磐城丸足止め

鯉漁場調査に出られぬ
かつを漁期を控へて小名濱港に要は約八百トンであるにも拘らず、待機中の縣指導船磐城丸は油の不足は約四百トンに到底指配給不足と乗組員困窮のため十隻船としての機能を發揮することの出来ぬので、配給問題について十四、五日頃出帆することを目下縣當局と交渉を進めてゐる。

自動車商業組合

平市及石城、双葉二郡のトラック營業者六十余名で平貨物自動車運送商業組合、また乗用自動車運送商業組合を組織、十八日頃平市で創立總會を開き會則制定役員を選任する。

大越記者出發

満洲國警長に採用された大越新平支局長大越洋氏は十四日午後三時二十分平發列車で出發。

食料品 銘酒清世界

清水屋商店
小名濱町・電話六番

放火教諭は一年半

昨報、放火教諭川部村野田喜一(四二)の判決公判は十三日午前十時半から平支部で開廷、懲役一年半の判決を言渡された。

夏井農事會議

農事實行組合長會議は十一日開き品評會開催、録後活動助成、人夫賃協定につき協議。

勿來商業組合

十八日創立總會
勿來町赤津庄兵衛氏等が發起となり全町の各種商業者百二十名で勿來町商業組合設立準備中であつたが十八日小學校で創立總會を開き役員、定款を決定する。

傳馬馬検査

石城郡馬産産組合では左記日割で傳馬馬検査を行ふ。
十五日、十六日、十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日。

誘拐事件判決

小名濱町ペンキ職人鈴木友美(二六)茨城縣助川町同業親林竹男(二四)の兩名が共謀し昨年十月、月雙葉郡戸村愛澤(一八)を誘拐し、賣り飛ばした懲罰誘拐事件の公判は十三日平支部で開廷、鈴木は懲役二年、梶林は一年六月、何れも未決拘留七十日通算の判決があつた。

本紙慰問號

南支派遣中島部隊
御變りありませんか、過日は貴紙を贈りました下さいました。有難う存じました。私共目下南支の一隅にて着々と戦闘の實をあげて居ります。旬日に互る討伐戦に参加してこの

禮狀集

坂井 勝君
御變りありませんか、過日は貴紙を贈りました下さいました。有難う存じました。私共目下南支の一隅にて着々と戦闘の實をあげて居ります。旬日に互る討伐戦に参加してこの

中支派遣隊

松浦 一君
二十五日警城時報を頂きました。誠に有難う存じました。私共目下南支の一隅にて着々と戦闘の實をあげて居ります。旬日に互る討伐戦に参加してこの

程歸つて來ましたが當時は目下雨期にて道路に閉口いたしました。長期戦に備へて内地も何かと不自由のことと思ひます。私共大いに緊張の度を加へ皆様の御期待に副ひたいと思つて居ります。時節柄御自愛を祈ります。

綴製作所へ賊

内郷村警城炭礦綴製作所へ十二日夜賊忍び込み、綴八頁(價格百六十圓)を窃取した。平野で犯人捜索中だが贓品は早くも古物屋の手を経て東京の間屋に送られてゐる。

石井小浪舞踊公演



前賣券發賣所
四丁目 マルトモ書店
二丁目 菊屋樂器店
銀座通 地球堂書店
才植小路 魁文堂書店
前賣券八十錢

見逃し給ふな
愈々今夜七時から公會堂で

平市人事錄

○出生 下平字八木内一丸 阿部朝吉さん二男則義君、長橋山二小野正二さん長男、欽司、彌宜町井上馬次さん四男輝夫、才植小路酒井幹雄さん長女節子さん(六八)。
○死亡 七軒町堀藏さん(六八)。
○婚姻 内郷村御嶽字坂ノ下草野正夫さん(三五)と上平字八反田七〇國府田トキ子さん(二二)、兼輪村大字高野宇銅屋場三吉田三次さん(一九)と田町五田島田ミドリさん(一九)。

新國大百貨店
1.50以上
品格合查監展品用代省工商

堂文魁(文)店約特

内郷局

店商屋釜
電九・九九番

平廣告研究会主催

「買物を聴く座談會」(三)

出席者 市長夫人 野村治子 郵便局長夫人 木村ヨシ子 金成醫院夫人 金成キミ子 吉田鐵子 所主夫人 吉田よね 第二小學校訓導長 藤野千葉 郵便局電話監督 谷ヨシ子
主催 齋藤特別委員長 森川常任幹事 齋藤特別委員長 他に商工會 高木書記 本社野澤主幹

平の商人は不親切
A夫人「深夜によく〇〇事務の電話がありますので午前二時三時頃の電話でも飛び起きる習慣に成つてゐますが、時として、石川さんですか、月の家ですか、何子さんあきましかか」と料理屋さんと間違ひられるのは附口します(笑)

「さん」間違ひやすい電話番號は特に注意し、夜十時から午前五時までは必ず「何番ですか」と反復するか乃至は屋號など訊ねるやうに注意してゐます」

森川「御用聞きに對する御希望はありますか、Aさんなど多いでせう」
D夫人「何々屋ですが御用聞きは御用聞きと伺ひ放しの御用聞きが多く親切味が足りないのではないでせうか」

森川「最近進歩した方ですが、都會のやうに行きませんね」
D夫人「今日これこれの物がありません、新しい物が入りました、と云ふ風に親切に放送すればつり込まれて買ふやうなこともあると思ひます、小僧まかせで主人が走り込んでゐるのも原因でせう、平の御用聞きは概してツツキ棒のやうに思はれます」

森川「仲家の或人の話ですが、十四、五年前まで平の商人は随分亂暴でお客さんの方が反つて禮を云つて歸る状態だつた、商人が他所から入り込んだのも組し易しと見てその虚を突いた為でせう、他の商人が入つて刺戟し今日までどうにか改善されたのです、私な

優良「工作書」提供

マルトモ書店

加納俊介著
實習指導最新機械製圖法
定價一圓九十錢

水田福松著
最新旋盤工作附參考詳表
定價一圓八十錢

森道雄著
實習ネチ切り作業法
定價一圓六十錢

實習ミリング製作法
定價一圓八十錢

杉浦宗三郎著
仕上工作の仕方
定價一圓五十錢

銀治工作の仕方
定價一圓五十錢

電氣技術者必携
定價一圓八十錢

薊地慎太郎著
最新旋盤工作入門
定價一圓七十錢

一顧直に役に立つ初歩の方への懇切な指導書
内容御覽の上御買上願ます

御誂と既製品

男女新學期洋服

平二・電三八六番

警防精神の皆様
警防分團旗 制定さる！
御下命は 弊店へ
今国内務省警保局に決定したる制定警防分團旗は時局柄標準價格決定致し減私奉公良品廉賣致候間御相談被下度候
◎圖案。色合見本有ます
京都西陣。山本旗工場代理店
平市田町銀座通

大塚運動具店

各種運動具豊富に揃つて居ます

製造 折詰屋

お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目

電話一四一番
配達人至急入用 年齢不問、住込の事

鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金貳圓各種
同 風 窓 網 金型各種
平市南町二〇

野内商會
電話一一番

燒土管 在庫豊富

お洗濯の時機に「モ」を

モゲン

お洗濯の時機に「モ」を

モゲン

お洗濯の時機に「モ」を

モゲン

内科 腸胃科

花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科

門專 院醫科腸胃性村松

(番七〇一電) 町南市平

鏡後の名家計費引下
十日のサトステ
十音のサトステ
ご利用下さい

平マーケット

中野洋品店

電話三五二番

神經痛に特效 用應氣電力強

八方散

水野藥局
平市・電六九九

小兒科 内科

平市南町
志賀醫院
電話一六二番

外科 一般

金成醫院
平市鎌田町 電話三五八番

十一屋食堂

出前迅速
女店員・コック見習 至急入用